

# 与那国島・海洋タウンミーティング2008 ～海とともに切り拓く、島と日本の豊かな未来～

- ①基調講演「国境の島・与那国と海洋立国ニッポン」（講師：山田吉彦氏）
- ②パネルディスカッション（講師を含む8名のパネリスト）

※パネリストの1人にオーナー：真謝喜八郎が出席しました





**【講師プロフィール】**  
山田 吉彦(やまだよしひこ)  
東海大学海洋学部准教授、海洋政策研究財団研究員  
1962(昭和37)年千葉県生まれ。  
学習院大学卒業、経済学博士。  
金融機関を経て日本財団(日本船舶振興会)に勤務。  
著書『日本の国境』『海賊、マラッカの嵐の中で』  
朝日で読む日本地図、『海のテロリズム』など。



吹浦 忠正  
(ふきうらただまさ)  
特定非営利活動法人  
ユーラシア21研究所 理事長



真謝喜八郎  
(まじゃきはちろう)  
入船エンタープライズ代表  
与那国観光協会筆頭理事



佐道 明広  
(さどうあきひろ)  
中京大学総合政策学部教授



上地 常夫  
(うえちつねお)  
与那国漁業協同組合長



盛 和春  
(もりかずはる)  
電通  
プロジェクト・プロデューサー  
シニアプロデューサー



松原さと子  
(まつばらさとこ)  
フリーアナウンサー  
(進行役/コーディネーター)



上妻 毅  
(こうづまたけし)  
財団法人都市経済研究所 理事



**【与那国島・海洋タウンミーティング2008】**  
「四面環海」= 四方を海に囲まれた日本。実は合計6,852の島々からなる島国です。古来、さまざまな海の恵みにあずかり、発展を遂げてきました。  
一方、漁業資源・海底資源をめぐる国家間の対立や紛争、海洋環境の汚染、不審船等による海上犯罪など近年、「海」に関わる多種多様な問題も生じています。与那国においても、漂着ゴミの問題、台風・津波などの災害対策や海の安全確保は、ごく身近で、とても重大な問題です。  
そうした中、昨年、新たな海洋立国の実現をめざす「海洋基本法」が成立しました。  
“海に守られた日本から、海を守る日本への転換”と言われています。同時に、広大な日本の「海域」を支えている「離島」の大切さが、今、改めて問われています。  
本「海洋タウンミーティング」では、日本最西端の国境離島から、“海とともに切り拓く、島と日本の豊かな未来”について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。  
パネリストは多士済々。ぶっつけ本番。どんな会議になるか？一わかりませんが、和やかに、楽しい会議にしたいと思っています。どうぞお気軽にご参加下さい。

## 与那国島・海洋タウンミーティング2008

～海とともに切り拓く、島と日本の豊かな未来～

- ①基調講演「国境の島・与那国と海洋立国ニッポン」（講師：山田吉彦氏）
- ②パネルディスカッション（講師を含む8名のパネリスト）

➡日時：2008年11月9日(日)15:00～18:00

➡場所：与那国町保健センター(入場無料)

主催：財団法人都市経済研究所・与那国町

後援：日本財団

協力：与那国島びるる会議・beatnik design

お問合せ先：財団法人都市経済研究所「海洋タウンミーティング」事務局 電話：03-3431-7011